

スポーツ×SDGs
ラグビーを通じて地域を元気にする
IPUEシカルアスリート



環太平洋大学 現代経営学科3年 西本 陽／宮岡 栄起／藪 智也

教育理念

教育とスポーツの融合



文武両道を目指し、人生における選択肢を増やす

きっかけは2022年7月20日



社会福祉法人 関谷福祉会

関谷ワークセンター・せと



アスリートの持つパワーを活用したい



地域の人たちにとって
身近にいる現役アスリートの存在は誇らしい。

訪問しただけで
ポジティブな絆づくりに直結。



パーパス

ラグビーを通じて
岡山を元気にする

市場機会

～スポーツ×SDGs～

食とラグビー体験を通じた地域活性化

なぜラグビーなのか？

全員が心を一つに一体感を持つ
One Teamの考え方

ラグビー憲章5つのコアバリュー
品位、情熱、結束、尊重、規律



点を取りあうスポーツではなく、守るべきものを守るスポーツ

弱い人を守るために後ろにパスをつなぐ



SDGsの世界観を伝えやすい

ペルソナ

1 学内浸透 1st Stage

大阪出身
ラグビー部所属
お父さんの影響で
ラグビーを始める
スポーツ万能だが
勉強はちょっと苦手
将来は消防士を目指し
猛勉強中



2 学外浸透 2nd Stage

スクールウォーズを見て
青春時代を過ごした
50代の男性
地域への貢献欲が高く
次世代育成にも熱心

ブランド・アイデンティティ

人と環境にやさしいアスリート集団



環太平洋大学の体育会の競技を
全て網羅する集合体にする事で、
調和とチームワークを意味しています。



ネーミング : IPUエシカルアスリート
ロゴの表記 : IPU E-Athlete
ブランドカラー : エシカルグリーン

1 学内浸透

1st Stage

食

まずはラグビーの楽しさを味覚で伝える

ジャツカルバーガー

イノシシを使ったジビエバーガー



ノットリリリースザポテト

岡山のソウルフード「えびめし」味



ラグビーの専門用語

ジャツカルとは？

タックルで倒れた相手から
ボールを奪うラグビーの技

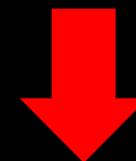
人から奪いたくなるほど
美味しすぎるという意味と、
イノシシ肉を使うことで、
向こう見ずに突き進む猪突猛進という意味



ジャツカルバーガー

ノットリリースザボールとは？

ボールを持った選手が倒れてしまったにもかかわらず、
ボールを放さずに持ち続けるラグビーの反則



放したくないほど美味しいという意味をこめて

ノットリリースザポテト

社会的価値

男子による調理体験



料理ができることを当たり前にする事で、職業の選択肢を広げる。

地元（瀬戸地区）の野生鳥獣被害の解決



継続的にユニークなジビエ料理のメニュー開発を授業で行い、Z世代、アルファ世代に楽しく普及促進。

留学生を含めた学生数の増加 岡山の関係人口の増加



ESDを目的とした実践を伴う授業で非認知能力を育成することで、理論が難しいと感じる体育会系でも楽しく学ぶことができる。

7月22日に試作を兼ねた試食会を実施



9月28日販売戦略の授業にてポテトづくりに再チャレンジ



えびめしやを運営する
株式会社いんでいら代表取締役
出井山登氏

試行錯誤の末、ノットリリースザポテトが完成



10月28日に開催された環太祭（学園祭）で大盛況



2 学外浸透

2nd Stage

ラグビー体験

痛い、怖いという
ブランドイメージを払拭し
弱い人を守るためのやさしいスポーツを体現

11月2日日本ラグビーフットボール協会清宮副会長と懇談



11月3日東京（有楽町朝日ホール）にて

ブランディング事例コンテスト



11月23日IPUにて開催されたキッズビジネスパークにて



500円のノットリリースザポテトを2時間で60個販売
一人当たりの時給3,000円
とりでい西口店様でメニュー化

明日のIPUフェスタ（瀬戸地区交流会）でもポテトを提供予定



IPU

FESTA

A

イベントNo.20240211

みんなが安心してずっと住み続けられる瀬戸地区のために

能登半島地震被災地支援 × 防災意識向上 × 地域貢献

IPUフェスタのご案内

2.18

10:00-14:00

場所 環太平洋大学内
カフェテリア「ハーモニー」
岡山市東区瀬戸町観音寺721
駐車場あり

環太平洋大学経済経営学部現代経営学科は、地域から必要とされる大学を目指し、様々な実践型の授業に取り組んでいます。この度の能登半島地震を目的に、被災地支援を行うだけではなく、いざという時に地域の皆様の安全な避難場所としてのIPUを知っていただくことも目的とし、瀬戸地区交流会「IPUフェスタ」を開催する運びとなりました。IPUらしい食と体験をお楽しみいただきながら、履学官の連携によって、ずっと住み続けられる瀬戸地区でありたいと願っています。

1

岡山市による
**防災グッズの
展示・体験**
助け合うお母さんの会による
防災セミナー

2

地元の皆様による
破格値野菜等
更生保護女性会による
あったか甘酒
ケーキ工房ポムによる
スイーツ

3

野球部学生による
**瀬戸地区産の
ジビエ料理**
ジビエカレーパン
アスリートカレー
ジビエ丼等

4

ラグビー部学生による
IPU発岡山B級グルメ
えびめし味ポテト
留学生による
ベトナムコーヒー

5

カフェプロジェクトによる
地元産特製レモンード
大学で人気のパン等
サッカー部学生による
お役立ちグッズ等

6

レインボーキャラバン
による
**ダンスパフォーマンス
& 生演奏**

2～5の売上の一部は、能登半島地震被災地への募金に充当します。

主催：環太平洋大学 後援：岡山市
担当：経済経営学部現代経営学科 特任教授 鈴木 真理子 / 特任准教授 廣野（おおの） 睦巳



現代経営学科の2つのプロジェクトが地域に寄り添った実践型の授業を行っています

IPUカフェプロジェクト

担当：経済経営学部現代経営学科 特任教授 鈴木 真理子

「IPUカフェプロジェクト」は、学生自らがカフェを起業・経営し、実践的な経営スキルとアントレプレナーシップマインドを培うことを目的としています。これにより、在学生・教職員だけでなく、地域の方々に居心地の良い安らぎの場を提供します。将来は、このカフェを地域の起業コミュニティの場にしたたいと考えています。2023年度ビジネスプランコンテストでは、最優秀賞を受賞しました。



IPU環太平洋大学サステナブルブランドプロジェクト

担当：経済経営学部現代経営学科 特任准教授 廣野 睦巳

ブランド戦略論、マーケティング特論、マーケティング総論、販売戦略を受講した学生さんの有志が、授業が終わった後も継続して地域に貢献したい、異文化交流をしたい、岡山を盛り上げたいという目的で、2021年9月から活動しています。2023年からは扇野ゼミも協働し、岡山県内外の企業様や専門家とのパートナーシップによって、提案活動、試作品づくり、試食会開催、商品販売を実施しています。東京で行われるブランディング事務コンテストにて、2022年はIPUジビエで中小企業庁長官賞、2023年はIPUエシカルアスリートでSDGs審査員特別賞を受賞しました。



IPU Gibier
QUAYAMA SETO

IPUジビエ
野生鳥獣の肉類と皮の
利活用を目的としたブランド
協力企業：駒どんぐり樓

IPU Sweets
QUAYAMA SETO

IPUスイーツ
地元野菜や果物を活用した
スイーツブランド
協力企業：ケーキ工房ポム樓

IPU Culture
QUAYAMA SETO

IPUカルチャー
留学生による
異文化交流ブランド
協力企業：岡山ビューホテル樓

IPU E-Athlete
QUAYAMA SETO

IPUエシカルアスリート
体育系学生による
地域活性化ブランド
協力企業：おいでんいら樓

スポーツ×SDGs

ラグビーを通じて地域を元気にする

IPUエシカルアスリート

ご清聴ありがとうございました

